

北海道・広島県・宮崎県の高等学校3校がオンラインによる調印式で 「三校循環型滞在研修」覚書を締結します

～ 地域を越えた循環型滞在中で、次世代のグローバル人材を育成 ～

北海道大空高等学校・広島県立大崎海星高等学校・宮崎県立飯野高等学校の3校は、それぞれが地方の小規模校として地域課題の解決と探究的な学びに取り組んでいます。

この度、3校が連携し、教員及び生徒の滞在型相互研修を実施することを定めた覚書をオンラインで同時締結します。

1 概要

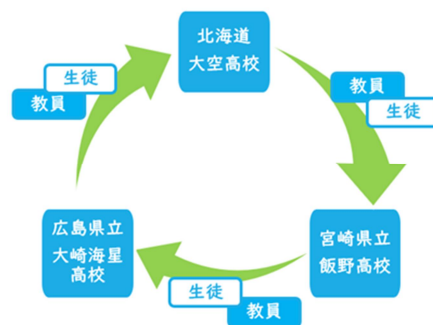
北海道大空高等学校・広島県立大崎海星高等学校・宮崎県立飯野高等学校の3校が連携し、教員及び生徒が相互に学校及び地域に滞在する三校循環型滞在研修を実施します。

人口減少が続く地方において、高等学校は地域の未来を担う人材育成の核となる存在です。しかし、同一地域の生徒同士だけでは視野が限られ、多様な価値観や生き方に触れる機会が少なくなりがちです。

本覚書は、北海道・広島・宮崎という地理的に離れた3つの地域をつなぎ、生徒と教員が互いの学校・地域に滞在することで、「越境学習」を通じた相互理解と人材育成を実現します。

2 プログラムの内容について

- (1) 対 象：教員1名及び生徒1～2名（各校より派遣）
- (2) 留学期間：原則1週間程度
- (3) 実施時期：3校の協議の上決定（令和8年度中に実施予定）
- (4) 費 用：往復旅費は各派遣校負担 / 宿泊費は受入校負担
- (5) 実施頻度：毎年度、原則として実施



▲ 三校循環型（輪環型）：
大空高 → 飯野高 → 大崎海星高 → 大空高
と一方向に滞在し合う、類例のないプログラム

3 参加3校について

北海道大空高等学校（大空町）— 「越境と探究」を掲げ主体性を育む町立高等学校

広島県立大崎海星高等学校（大崎上島町）— 離島に立地する探究実践校

宮崎県立飯野高等学校（えびの市）— 新たな普通科「みらい探究科」を新設、グローバルな探究を推進

4 調印式について

- (1) 日 時 令和8年4月20日（月）14時00分～
- (2) 形 式：オンライン同時接続
- (3) 参加者：各校校長、担当教員
- (4) 取 材：オンライン取材も可能です。ご希望の際は、事前に上記担当者まで御連絡ください。